

2016年3月期

決算説明会

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを。



<http://www.seamarche.jp>



目次



2016年3月期の概況

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 当社を取り巻く環境 | 3ページ |
| 2. トピックス | 4～ 5ページ |
| 3. 当社グループの状況 | 6ページ |

2016年3月期 決算概要

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 計算書類 | 8～13ページ |
| 2. 事業セグメント別の状況 | 14～20ページ |

2017年3月期 業績予想及び施策

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 事業セグメント別の施策 | 22～23ページ |
| 2. 業績予想 | 24～25ページ |
| 3. 設備投資計画 | 26ページ |



2016年3月期の概況

1. 事業を取り巻く環境

経済・社会情勢

- 雇用環境の改善により日本経済は緩やかな回復基調を維持
- 新興国経済の減速や年明け以降の円高の進行、株価の下落により企業収益や個人消費が低迷し景気の先行きは不透明

水産・食品業界

- 食の安心・安全に対する関心の高まり
- 販売競争の激化や人手不足、労働コストの上昇が進行
- 世界的な水産物需要の増大により買付コストが上昇

2. トピックス

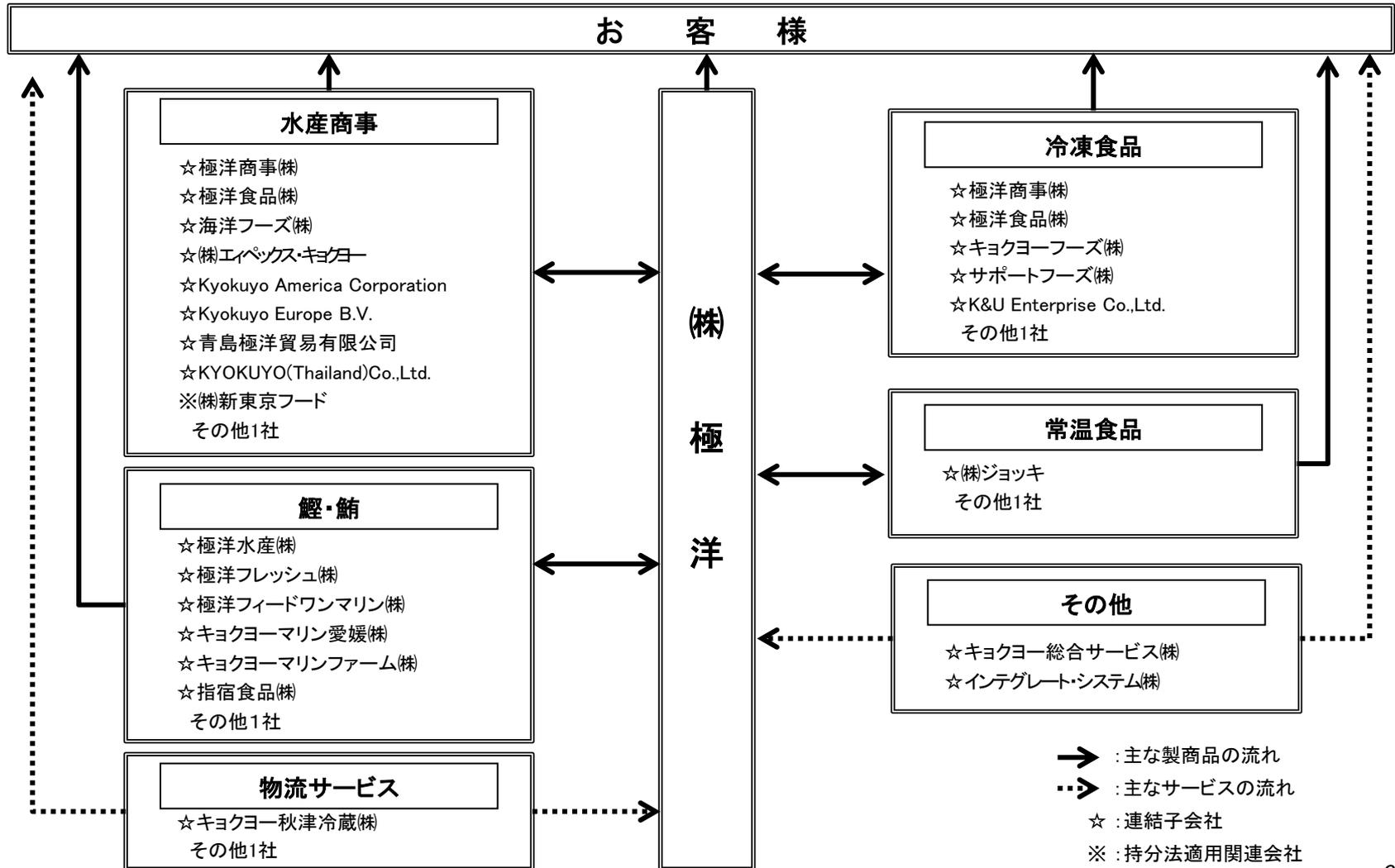
- 「バリューアップ・キョクヨー2018」をスタート 【4月】
 - ▶ 魚に強い総合食品会社として、収益基盤の安定と変化への対応力を高め、新たな価値を創造する企業を目指す
- Kyokuyo America Corporation ロサンゼルス営業所を開設 【5月】
 - ▶ 当社が得意とするきめ細かい顧客対応で海外での販売拡大を目指す
- コーポレートサイトを全面リニューアル 【6月】
 - ▶ 一般消費者、株主、投資家の皆様やお取引先様、就職活動中の方々に向け情報を充実させ、見やすく操作性を向上させたものに全面的に刷新
- 指宿食品(株) を設立 【7月】
 - ▶ 需要が増えているカツオタタキなど水産物加工品の増販
 - ▶ 有数のカツオ水揚げ基地である鹿児島で製造し、西日本マーケットをカバー

□ 極洋食品(株)塩釜工場が完成 【12月】

- ▶ 魚の強みを活かした水産冷凍食品の国内基幹工場
- ▶ 食の安心・安全への取り組みを強化
- ▶ 高能率機器の導入によるローコストオペレーション
- ▶ 環境に配慮した最新設備を採用
- ▶ 働きやすい工場で地域経済の活性化にも貢献
 - 所在地 : 宮城県塩釜市新浜町3-20-1
 - 建築面積 : 5,531.05㎡ (新棟2,804.49㎡)
 - 生産能力 : 最大15,000トン



3. 当社グループの状況(2016年3月末現在)





2016年3月期 決算概要



2016年3月期 決算概要



1. 計算書類

(1) 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	連結累計期間	(増減金額)	(増減比率)
	2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (当期)			2016年3月期 (当期)		
売上高	218,350	226,626	8,275	3.8%	229,000	△2,373	△1.0%
営業利益	2,460	2,433	△26	△1.1%	3,600	△1,166	△32.4%
営業外収益	674	698	24	—	—	—	—
営業外費用	1,026	317	△709	—	—	—	—
経常利益	2,107	2,814	706	33.5%	3,500	△685	△19.6%
特別利益	3,644	428	△3,216	—	—	—	—
特別損失	983	681	△301	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,433	1,799	△634	△26.1%	2,200	△400	△18.2%

- ・当初予想：2015年5月8日に発表した2016年3月期業績予想数値
- ・売上高：水産商事、冷凍食品、鰹・鮪が伸長し、前期比82億円の増収
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：代行返上益など特別利益がなくなったことなどから前期比6億円の減益



2016年3月期 決算概要



(2) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2015年 3月末	2016年 3月末	前期比		2015年 3月末	2016年 3月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	69,860	70,426	565	流動負債	46,460	40,835	△5,625
受取手形及び売掛金	24,616	24,759	143	固定負債	19,406	30,707	11,300
たな卸資産	35,953	37,068	1,115	負債合計	65,867	71,542	5,675
その他	9,291	8,598	△692	純資産の部			
固定資産	19,076	24,181	5,105	株主資本	22,202	23,405	1,202
有形固定資産	12,241	16,972	4,730	その他の包括利益 累計額	447	△827	△1,274
無形固定資産	465	907	442	非支配株主持分	420	487	67
投資その他の資産	6,369	6,301	△67	純資産合計	23,069	23,065	△4
資産合計	88,937	94,608	5,670	負債及び純資産合計	88,937	94,608	5,670



2016年3月期 決算概要



(3) 連結キャッシュ・フロー計算書

	連結累計期間		
	2015年3月期(前期) (単位:百万円)	2016年3月期(当期) (単位:百万円)	当期(連結累計期間)の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	△2,340	2,689	税金等調整前当期純利益 +25億円 減価償却費 +15億円 仕入債務の増加 +13億円 たな卸資産の増加 △12億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△762	△5,114	固定資産の取得 △51億円
財務活動による キャッシュ・フロー	3,698	2,482	短期借入金の純減 △69億円 長期借入金の増加 +101億円
現金及び現金同等物に係る 換算差額	87	△90	
現金及び現金同等物の 増減額	683	△33	
現金及び現金同等物の 期末残高	4,070	4,030	



2016年3月期 決算概要



(4) 連結経営指標

	2015年3月末	2016年3月末	前期比
純資産	23,069百万円	23,065百万円	△4百万円
自己資本比率	25.5%	23.9%	△1.6ポイント
商製品在庫金額	29,463百万円	30,762百万円	+1,298百万円
在庫回転日数	45.9日	48.4日	+2.5日
有利子負債	473億円	506億円	+33億円
負債資本倍率(D/Eレシオ)	2.1倍	2.2倍	+0.1ポイント
自己資本利益率(ROE)	11.5%	8.0%	△3.5ポイント
総資産経常利益率(ROA)	2.4%	3.1%	+0.7ポイント
売上高営業利益率	1.1%	1.1%	△0.0ポイント
1株当たり純資産	215円65銭	214円97銭	△68銭
1株当たり当期純利益	23円17銭	17円13銭	△6円04銭



2016年3月期 決算概要



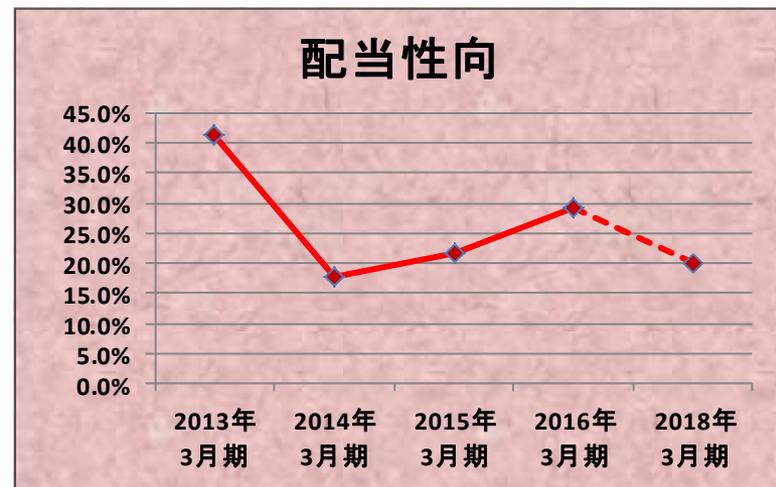
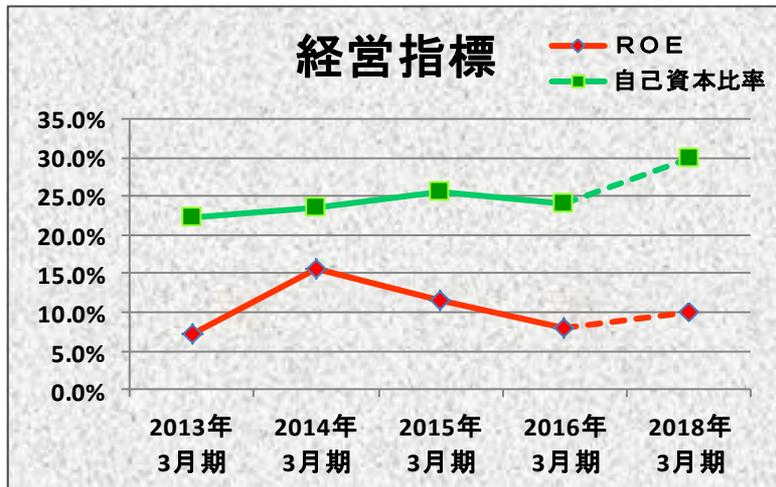
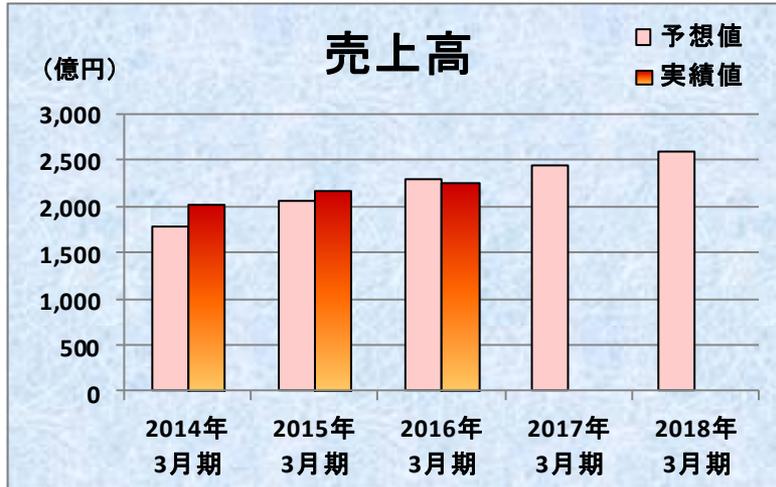
(5) 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想 累計期間	当初予想比	
	2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2016年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	212,086	216,350	4,264	2.0%	219,000	△2,649	△1.2%
営業利益	1,894	2,211	317	16.7%	2,800	△588	△21.0%
経常利益	2,042	2,432	389	19.1%	2,600	△167	△6.5%
当期純利益	2,139	1,259	△880	△41.2%	1,700	△440	△25.9%

- ・当初予想：2015年5月8日に発表した2016年3月期業績予想数値
- ・売上高：冷凍食品と鰹・鮪が伸長し、前期比42億円の増収
- ・当期純利益：代行返上益など特別利益がなくなったことなどから前期比8億円の減益

指標の推移





2016年3月期 決算概要



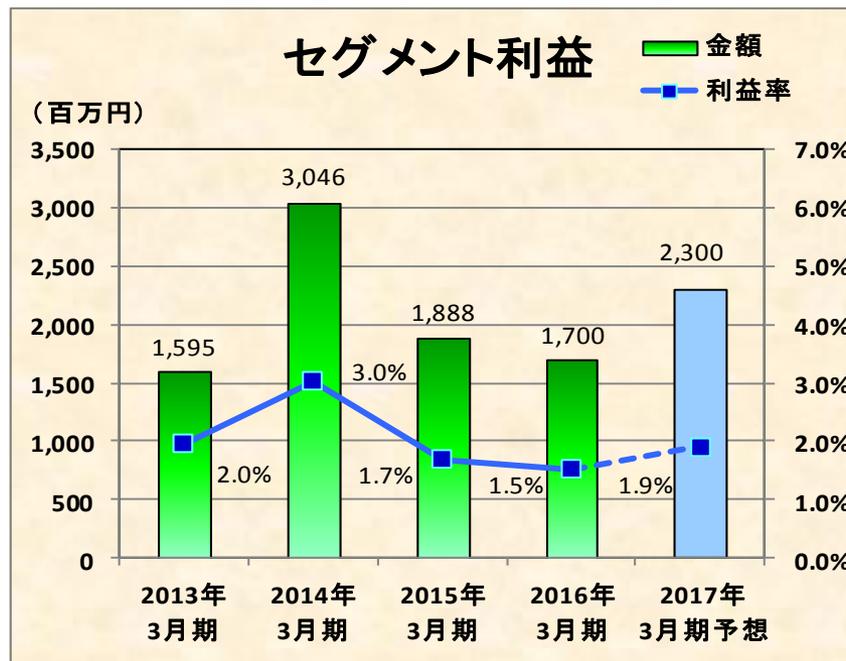
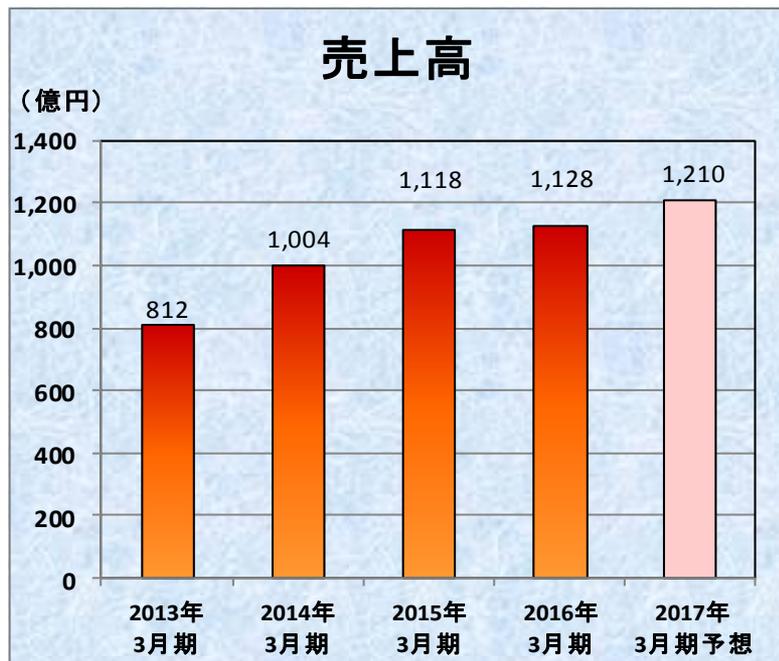
2. 事業セグメント別の状況

(1) セグメント別売上高及びセグメント利益<連結>

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	連結累計期間		前期比	連結累計期間		前期比
	2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (当期)		2015年3月期 (前期)	2016年3月期 (当期)	
水産商事	111,795	112,809	1,013	1,888	1,700	△188
冷凍食品	62,744	67,590	4,845	409	268	△140
常温食品	17,478	17,959	481	306	391	84
物流サービス	3,148	2,958	△190	148	216	68
鯉・鮪	22,855	24,888	2,033	△12	354	366
その他	327	419	91	△280	△497	△216
合計	218,350	226,626	8,275	2,460	2,433	△26

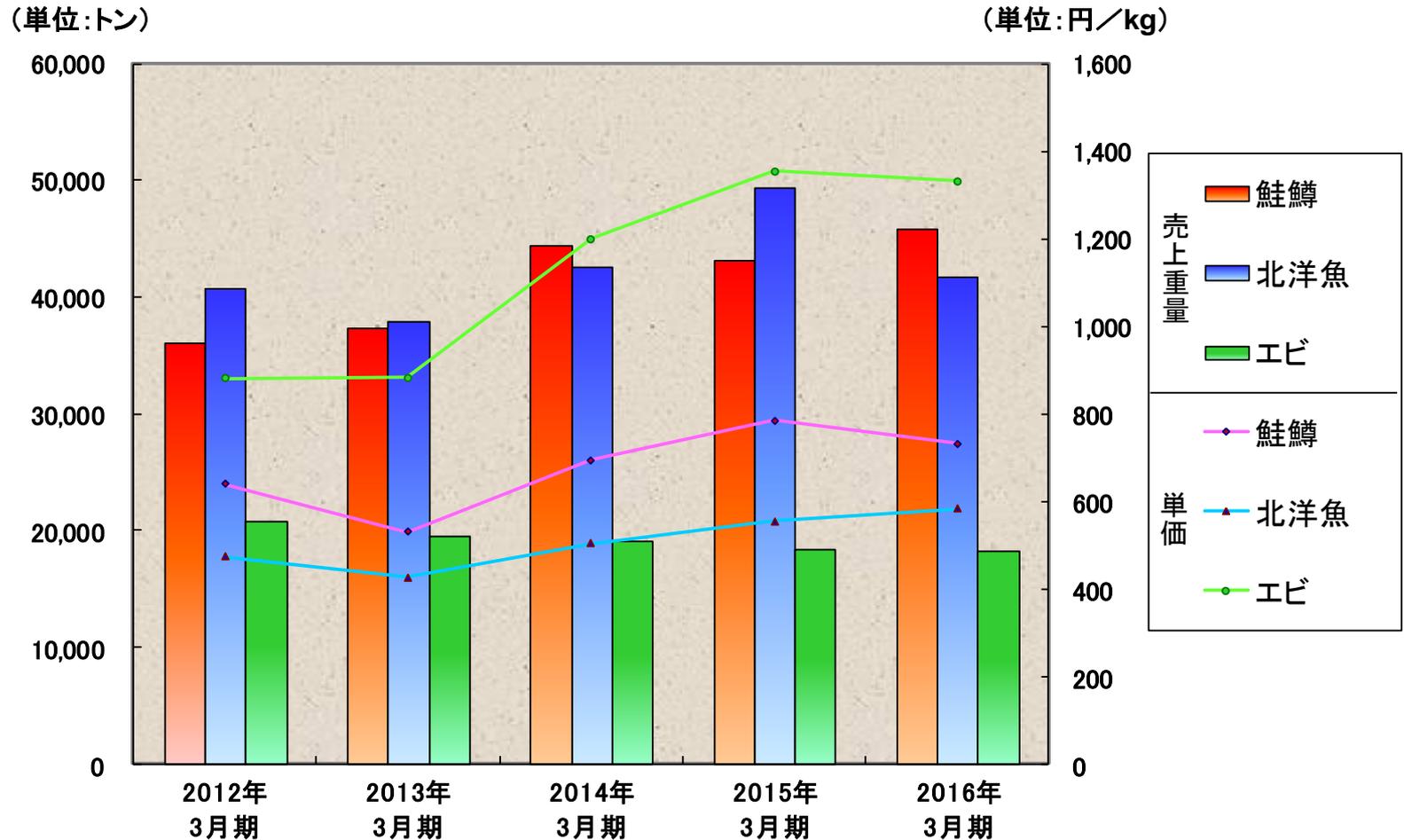
(2) 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



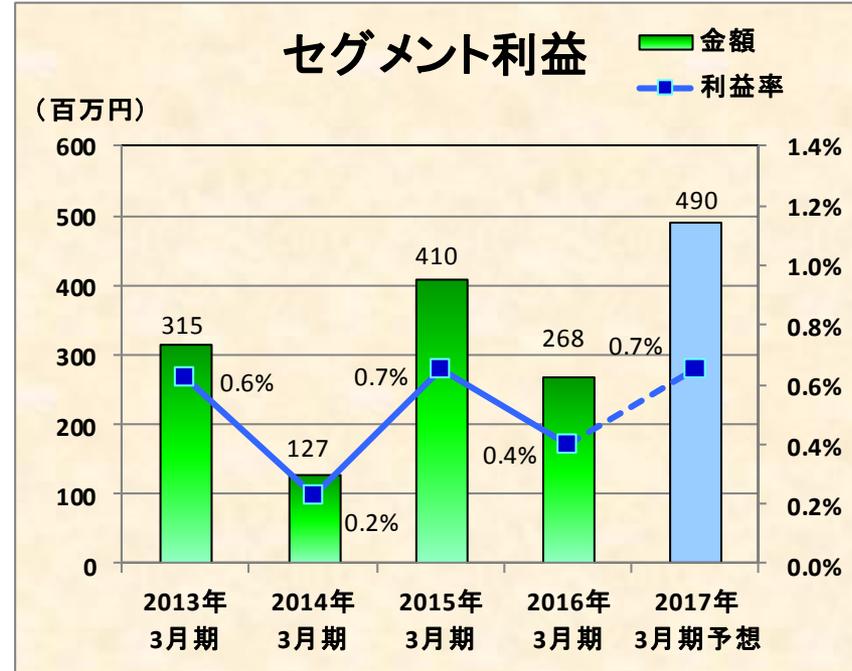
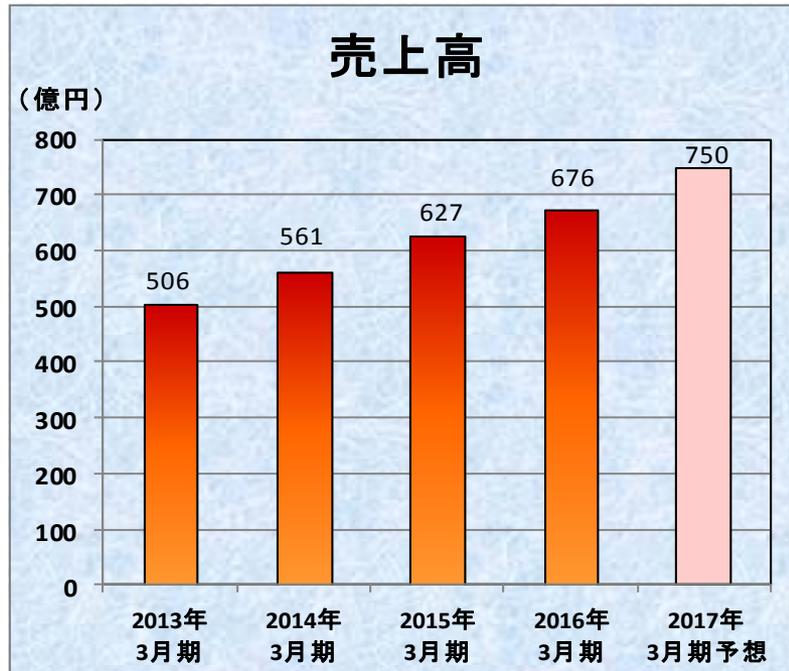
【当期の状況】

- 増収減益
 - 定塩サケ製品や伸ばしエビなどの付加価値製品の販売に注力
 - 厳しい買付環境
 - 加工コスト上昇による利益率の低下

水産商事事業〈個別〉…魚種別売上重量・単価推移



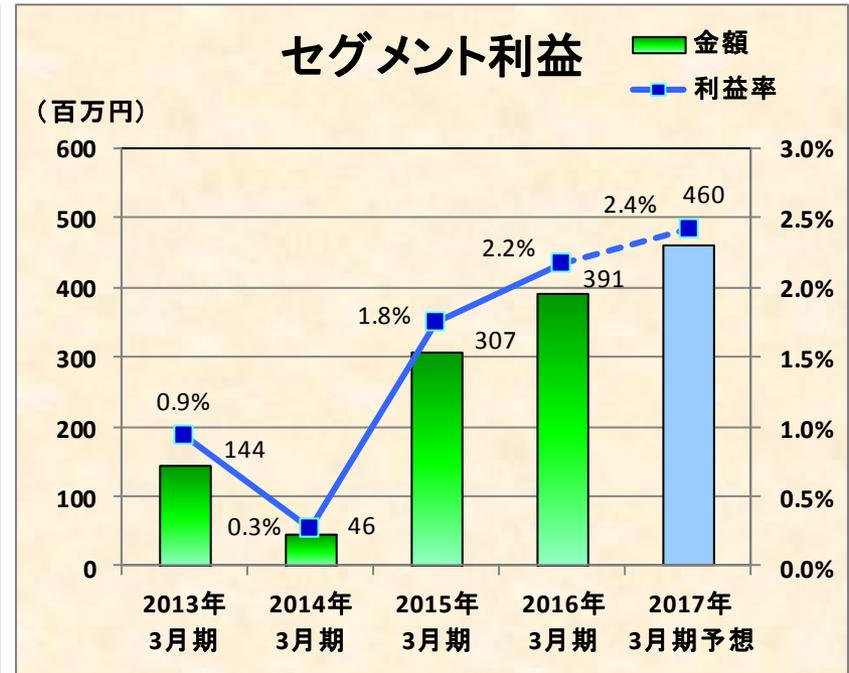
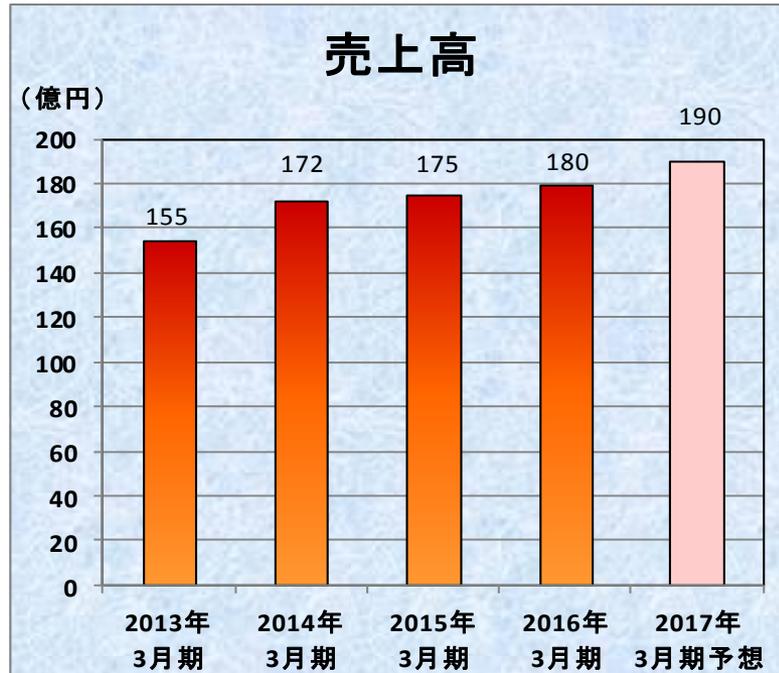
(3) 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収減益
 - 「だんどり上手」シリーズなどの加熱用商品を医療食や事業所給食へ拡販
 - 寿司・生食用商材を回転寿司チェーンへ順調に販売
 - 白身フライやエビフライ、カニ風味かまぼこを量販店向けに拡販
 - 家庭用冷凍食品は有力量販店への販促を強化
 - 海外生産部門の不振と海外製品のコスト増

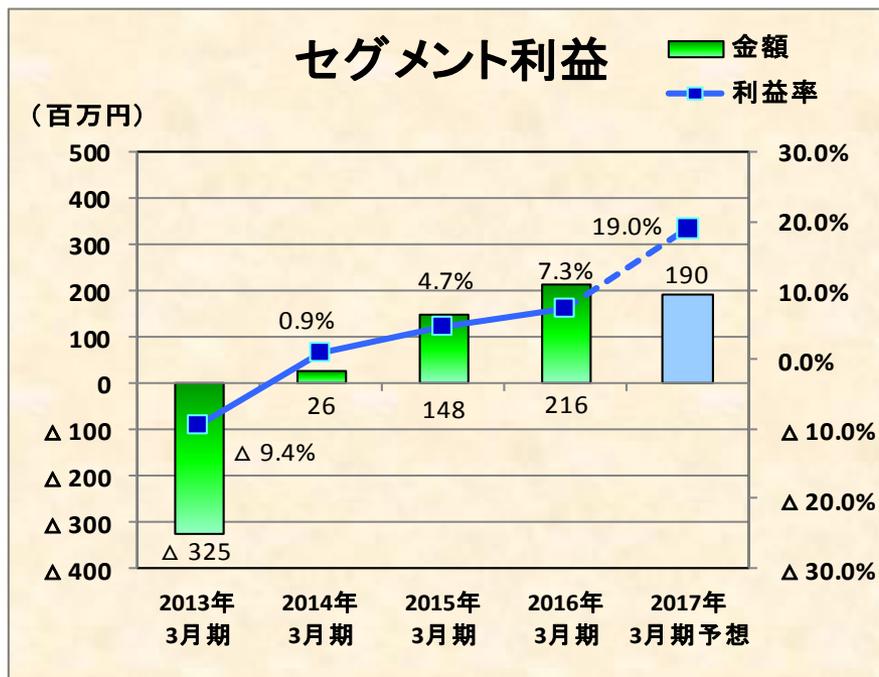
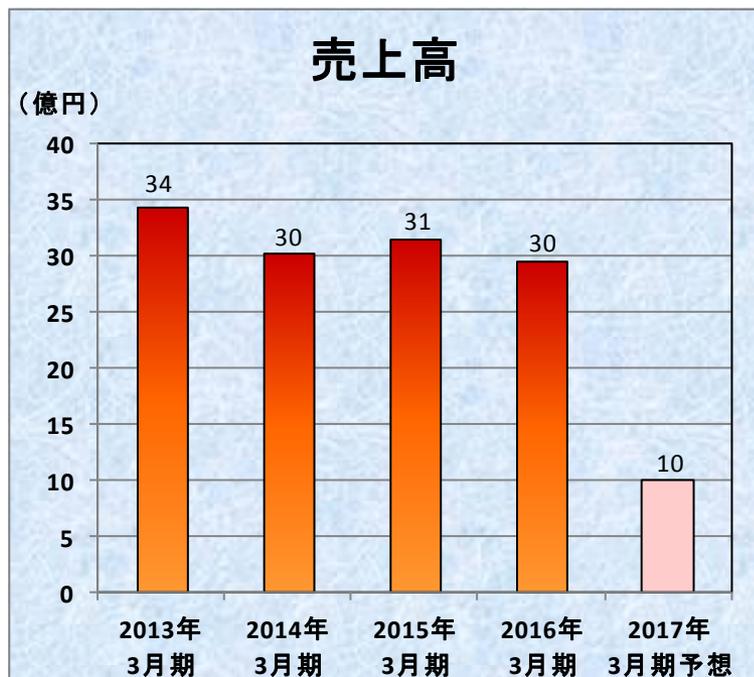
(4) 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 海外まき網船「わかば丸」の良質なカツオ原料による差別化商品の拡販
 - 価格改定や商品・販売先の集約などにより利益率が改善
 - 海産珍味製品の順調な拡大

(5) 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



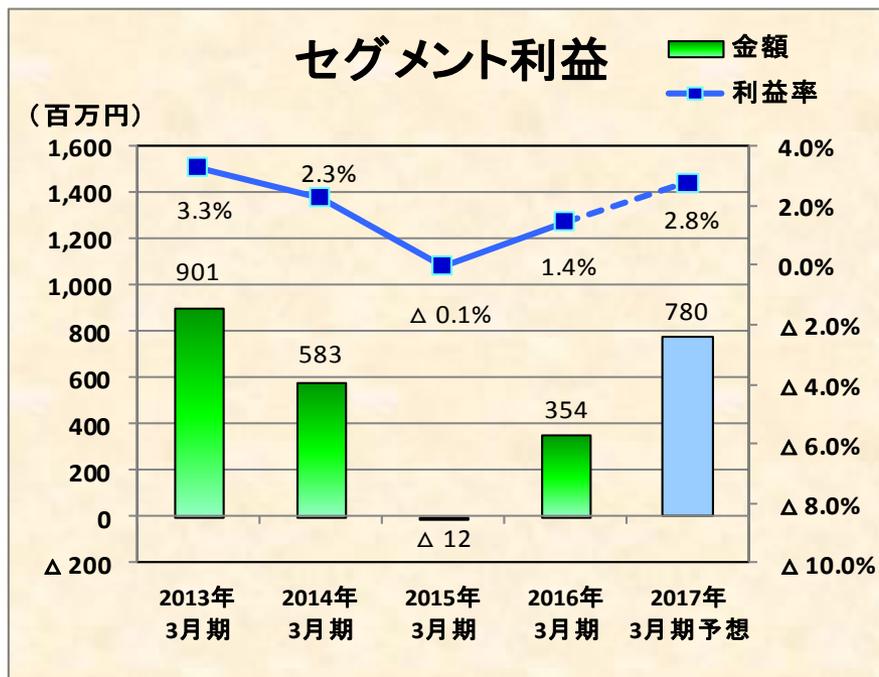
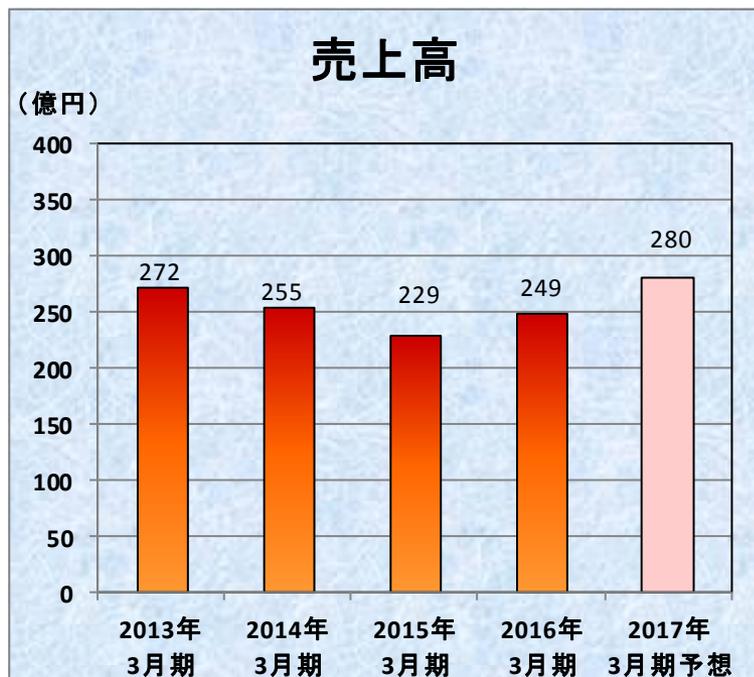
【当期の状況】

□減収増益

《冷蔵倉庫事業》 ➤ 入庫貨物の集荷に注力

《冷蔵運搬船事業》 ➤ 運航船の年間契約による効率的な配船

(6) 鰹・鮪事業〈連結〉…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業



【当期の状況】 □ 増収増益

《海外まき網事業》 ▶ 漁獲量、魚価が安定

	前期	当期	前期比
水揚げ重量(千トン)	31	30	Δ1
水揚げ金額(億円)	54	56	+2
単価(円/kg)	174	185	+11

《養殖事業》

- ▶ 完全養殖魚の沖出し尾数が増加
- ▶ 養殖技術の蓄積に注力

《加工販売事業》

- ▶ ネギトロ製品など加工品を外食、量販店などに販路拡大
- ▶ 本鮪、南鮪の取扱い増加

2017年3月期 施策及び業績予想



2017年3月期 施策及び業績予想



1. 事業セグメント別の施策

【水産商事セグメント】

- 質の高い水産物の安定供給を維持
- 国産魚など取扱い魚種の拡大と付加価値商品の製造販売
- 海外拠点の拡充と海外マーケットの積極的開拓

売上高:1,210億円(前期比107%)

セグメント利益:2,300百万円(前期比135%)

【冷凍食品セグメント】

- 塩釜新工場のフル稼働に向け生産体制の充実
- 原料から加工、販売まで一貫体制の強化
- 即食商品など付加価値商品の製造販売
- 海外を含めた生産拠点の最適化

売上高:750億円(前期比111%)

セグメント利益:490百万円(前期比182%)



2017年3月期 施策及び業績予想



【常温食品セグメント】

- 市場ニーズに沿った缶詰商品の開発
- ECサイトなど販売チャネルの多様化
- 珍味加工品の商品開発力と提案力を強化

売上高:190億円(前期比106%) セグメント利益:460百万円(前期比118%)

【鯉・鮪セグメント】

- 海外まき網事業の効率的操業と高品質な付加価値商品の生産
- 「本鮪の極」のブランド力強化と完全養殖クロマグロの育成
- 国内生産拠点の整備拡充と海外への販路開拓

売上高:280億円(前期比112%) セグメント利益:780百万円(前期比220%)

【物流サービスセグメント】

- 冷蔵倉庫事業の集荷貨物の安定的な確保と事業の効率化

売上高:10億円(前期比34%) セグメント利益:190百万円(前期比88%)



2017年3月期 施策及び業績予想



セグメント別業績予想〈連結〉

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比
水産商事	112,809	121,000	8,190	1,700	2,300	599
冷凍食品	67,590	75,000	7,409	268	490	221
常温食品	17,959	19,000	1,040	391	460	68
物流サービス	2,958	1,000	△1,958	216	190	△26
鯉・鮪	24,888	28,000	3,111	354	780	425
その他	419	0	△419	△497	△720	△222
合計	226,626	244,000	17,373	2,433	3,500	1,066



2017年3月期 施策及び業績予想



2. 業績予想

(1) 連結

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	
			(増減金額)	(増減比率)
売上高	226,626	244,000	17,373	7.7%
営業利益 (営業利益率)	2,433 (1.1%)	3,500 (1.4%)	1,066	43.8%
経常利益 (経常利益率)	2,814 (1.2%)	3,300 (1.4%)	485	17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,799	2,100	300	16.7%

(2) 個別

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	
			(増減金額)	(増減比率)
売上高	216,350	232,000	15,649	7.2%
営業利益 (営業利益率)	2,211 (1.0%)	2,800 (1.2%)	588	26.6%
経常利益 (経常利益率)	2,432 (1.1%)	2,700 (1.2%)	267	11.0%
当期純利益	1,259	1,800	540	43.0%



2017年3月期 投資計画



3. 設備投資計画

	概要	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画
極 洋	新工場建設関連	40億円	5億円
	生産工場関連	1億円	2億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	0億円	1億円
	IT関連その他	4億円	5億円
	計	45億円	14億円
関係会社	生産工場関連	10億円	13億円
	まき網事業関連	3億円	3億円
	養殖事業海上	2億円	1億円
	IT関連その他	4億円	1億円
	計	19億円	18億円
合計		64億円	32億円



本資料は、2016年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。